

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

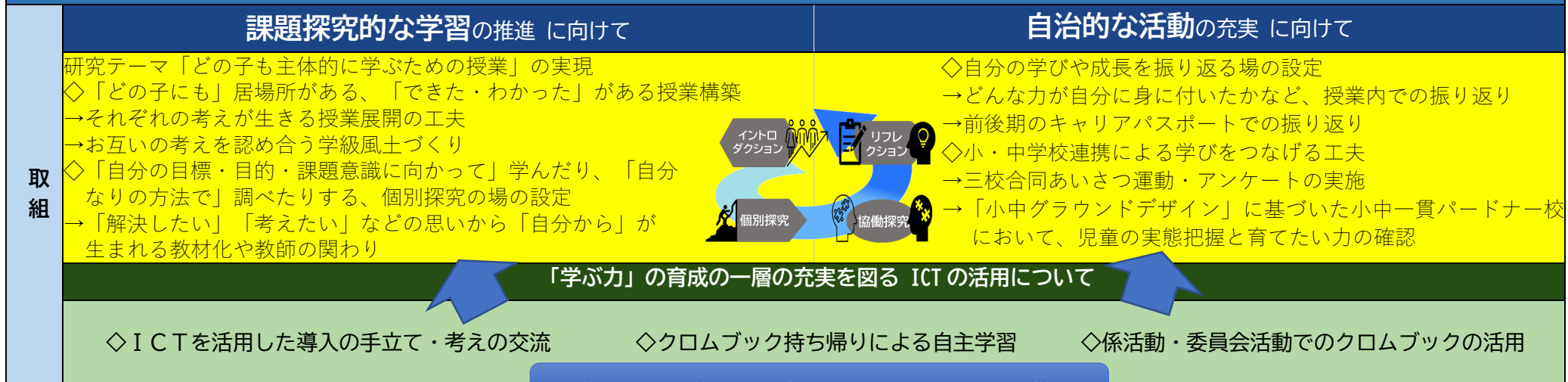
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25015

「学ぶ力」	
成果	課題
◇昨年「どの子ども主体的に学ぶための授業」を研究したことで「どの子ども」活躍する姿が見られるようになってきた。 ◇教材との出会いを大切に、子どもとの実態に合わせた授業づくりを行うことができた。そのため、児童が意欲的に取り組んだりつながりを意識したりして学ぼうとする児童が増えてきた。	◇札幌市の共通指標から、「自分の意見を進んで発言しようとしている」児童の割合が低い。個の学びを全体の学びにつなげる自信と発信力に差がある。 ◇児童の中には、学びの積み上げ、つながりが不十分であったり、意欲が持続しにくかったりする児童もいる。（4月からの積み重ね、授業のつながり、意欲の持続が重要）
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇日々の学級風土・授業だけでなく、縦割りグループによる異学年交流の実施や運動会などブロック学年との取組、1年を通してのあいさつ運動など、人との交流が、思いやりのある言葉遣い、他者を受け入れる姿に繋がっていると考える。他者を受け入れると同時に自己も受け入れ、引き続き、自分に自信をもてるような場や価値付けが重要となると考える。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

「つながり」を広げ、どの子ども主体的に学ぶ力



<本プログラムの実行に向けて>

目標・目的・意図を明確にして活用することを目指す

